

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	航空法規（Aviation Regulation）		
ナンバリングコード	N21601	大分類 / 難易度 科目分野	航空宇宙工学科 専門科目 / 標準レベル 航空機整備
単位数	2	配当学年 / 開講期	2 年 / 前期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	N160101	クラス名	-
担当教員名	中野 慎介		
履修上の注意、 履修条件	航空整備士国家試験4科目の中に航空法もあります。 航空機整備士を目指す方は確実に理解してください。		
教科書	プリントを配布		
参考文献及び指定図書	航空機検査業務 サークュラー集(日本航空技術協会出版)航空法規集(鳳文書林出版) 航空法、サーキュラー、耐空性審査要領、航空法-法と航空法令の解説(池内宏著)		
関連科目	整備概論、整備基礎、航空機構造装備、品質管理		

○基本情報		
授業の目的	航空宇宙工学科ディプロマポリシー「航空機や宇宙機器の設計・製造・運航・整備に関して基礎理論及び知識を体系的に理解している。」に関して、航空機を運航、整備又は設計していく為に必要な法律を学習します。 航空従事者が必要とする航空法の知識を身に付け、日本における航空機の安全性と航空従事者の役割を理解します。	
授業の概要	航空機の設計、運航及び整備を実施する上で必要な航空法を学習します。内容は、航空法の体系、飛行方式、空港、航空従事者、技能証明、耐空証明、型式証明、認定事業場、航空機に備え付けなければならない書類、飛行規程、運航規程、整備規程、修理改造検査、航空整備士の作業区分、非常用装備品などについて学習します。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	中野 慎介 航空会社において航空整備士試験に合格し、航空機整備業務に従事した実務経験に基づき、航空法規を教育。	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	航空機設計、航空機整備に何故航空法が必要か理解する。			10点
【知識・理解】	航空法の目的である、航空の利便性向上による航空の発達、そのための航空事業、航空輸送のルールと航空の安全について理解します。また、航空機の安全性と航空従事者の役割を理解します。	60点		
【技能・表現・コミュニケーション】				
【思考・判断・創造】	航空機は各種の法・ルールのもとに飛んでいることを理解する。		30点	
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
3回行う小テストで自分自身の理解度を確認してもらいます。 小テストは次回の授業冒頭で返却し解説を行います。 授業での取り組み姿勢および態度、欠席・遅刻・早退は評価の対象となります。				

○その他
授業は配布したプリントで実施します。 予習用に次回のプリントも配布します。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	航空法規（Aviation Regulation） 中野 慎介	授業コード	N160101
学修内容				
1. 日本の航空法令 国際法と関連機関 航空法令の体系、国際法と関連機関について学習します。				
予習	航空法について下調べをしておく。			約2時間
復習	プリント・テキスト「航空法令 国際法と関連機関」を復習する。			約2時間
2. 航空法の目的 航空法の目的、航空機と航空業務の定義について学習します。				
予習	プリント・テキスト「航空法の目的 航空機と航空事業」を予習する。			約2時間
復習	プリント・テキスト「航空法の目的 航空機と航空事業」を復習する。			約2時間
3. 飛行方式 航空管制 空港 空港保安施設 飛行方式 航空管制 空港 空港保安施設について学習します。				
予習	プリント・テキスト「飛行方式 航空管制 空港 空港保安施設」を予習する。			約2時間
復習	プリント・テキスト「飛行方式 航空管制 空港 空港保安施設」を復習する。			約2時間
4. 航空業務と航空従事者 航空業務と航空従事者について学習します。				
予習	プリント・テキスト「航空業務と航空従事者」を予習する。			約2時間
復習	プリント・テキスト「航空業務と航空従事者」を復習する。			約2時間
5. 航空機の登録 小テスト1を実施します。 航空機の登録について学習します。				
予習	プリント・テキスト「航空機の登録」を予習する。			約2時間
復習	プリント・テキスト「航空機の登録」を復習する。			約2時間
6. 耐空証明(前半) 小テスト1の解答をします。 耐空証明について学習します。				
予習	プリント・テキスト「耐空証明と型式証明」の耐空証明の部を予習する。			約2時間
復習	プリント・テキスト「耐空証明と型式証明」の耐空証明の部を復習する。			約2時間
7. 耐空証明(後半) 耐空証明、型式証明について学習します。				
予習	プリント・テキスト「耐空証明と型式証明」の型式証明の部を予習する。			約2時間
復習	プリント・テキスト「耐空証明と型式証明」の全てを復習する。			約2時間
8. 認定事業場 認定事業場について学習します。				
予習	プリント・テキスト「認定事業場」を予習する。			約2時間
復習	プリント・テキスト「認定事業場」を復習する。			約2時間

○授業計画		科 目 名 担当教員	航空法規（Aviation Regulation） 中野 慎介	授業コード	N160101
学修内容					
9. 規程 報告の義務 飛行規程、運航規程、整備規程、安全管理規定および報告の義務について学習します。					
予習		プリント・テキスト「規程 報告の義務」を予習する。			約2時間
復習		プリント・テキスト「規程 報告の義務」を復習する。			約2時間
10. 航空機に備える書類 小テスト2を実施します。 航空日誌、航空機に備える書類について学習します。					
予習		プリント・テキスト「航空機に備える書類」を予習する。			約2時間
復習		プリント・テキスト「航空機に備える書類」を復習する。			約2時間
11. 整備及び改造(前半) 小テスト2の解答をします。 整備作業の区分、修理改造検査について学習します					
予習		プリント・テキスト「整備及び改造」の整備の区分、修理改造検査の部の整備の区分、修理改造検査の部を予			約2時間
復習		プリント・テキスト「整備及び改造」を復習する。			約2時間
12. 整備及び改造(後半) 航空法第19条の確認について学習します。					
予習		プリント・テキスト「整備及び改造」の1-3航空法第19条の確認の部を予習する。			約2時間
復習		プリント・テキスト「整備及び改造」の全てを復習する。			約2時間
13. 航空機の運航の状況を記録するための装置 航空機の運航の状況を記録するための装置、救急用具、義務装備品、航空機の灯火について学習します。					
予習		プリント・テキスト「航空機の運航の状況を記録する装置 航空灯火他」を予習する。			約2時間
復習		プリント・テキスト「航空機の運航の状況を記録する装置 航空灯火他」を復習する。			約2時間
14. 人間の能力及び限界に関する知識 小テスト3を実施します。 整備とヒューマン・ファクター、人間の能力と限界、ビューマン・エラーの管理について学習します。					
予習		プリント・テキスト「人間の能力及び限界に関する知識」を予習する。			約2時間
復習		プリント・テキスト「人間の能力及び限界に関する知識」を復習する。			約2時間
15. 纏め 小テスト3の解答をします。 振り返りを実施し、知識の確認を行います。					
予習		プリント・テキストの問題、小テストを全て解いてみる。			約2時間
復習		全てのプリント・テキストを復習する。			約2時間
16. 期末試験 第1回～15回までの講義の内容から問題を出題して解答して貰います					
予習					
復習					